

< 県南地区 ハイキング > 取手・小文間地区 & 駅周辺の坂道・史跡散策

11月5日(土) 県南地区では寿会・シニアクラブ共催でハイキングを実施、18名が参加しました。今回は4年前の取手坂道散歩の新バージョン「プラ取手」を企画、前回同様に酒井達夫さんにガイド役をお願いし、坂道散策と史跡巡りで取手の歴史や地理を勉強しました。午前は路線バスで小文間地区へ移動、小貝川・利根川の合流地点を眺めた後、古い由緒ある神社や坂道の道標や縄文時代・中妻貝塚を見学した後、取手駅に戻りました。午後は坂道散歩で長禅寺のさざえ堂建築を見学、取手本陣の後は本多作左衛門重次の墓から井野天満宮を経て取手駅へ戻り、全7km・1万7千歩を歩きました。最後は懇親会で大いに盛り上がり、5時半に解散。[井上純一]



(後列左) 井上純一、石上明、倉持勝男、古矢昇、宮本久雄、岡野富和、高石勝巳  
 (中列) 小俣澄昭、吉川尚文、田村芳直、西津義弘  
 (前列) 鈴木誠、西郷治男、酒井達夫、佐野博、佐藤武、熊谷盛、对比地省造 <敬称略>



酒井さんの分かりやすい説明を聞きながら歴史を勉強する。



懐かしい話しながら足取り軽く



酒井さん作成の資料を見ながら歩く



貝殻が残る中妻貝塚を興味深く見学



道標の設置費用まで坂道愛好会の酒井さんが申請



懇親会 近況や思い出話で盛り上がりました。